

「キノシールド」の施工手順

施工概要

- 専用溶液を施工箇所に一定時間噴霧し、コーティングします。
- 1区画ごとのサービスになります。範囲が大きい場合、区画を分けて作業する場合もございます。
- 溶液を区画に充満させる為、人がいない状態で行います。
(一時的に湿度90%超の霧がかかったような状況になります。)

＜施工の流れ＞

1. お客様による準備

現状の状態で構いません。

万一、抗菌の必要のないものがある場合は施工前日までに片づけをお願いします。

2. 施工前準備

接触対象物（把手、ドアノブ、手すり）などに対し、簡易的な脱脂作業を行います。

※ほこりや油脂などの付着物がありますと効果が発揮できませんので事前に清掃をお願いします。

3. 養生

煙探知機などに養生を行います。（天井が高い時など行わない場合があります）

4. 溶液噴霧

薬品用スプレーガン、噴霧器を使用します。噴霧後、定着させ、30分ほど自然乾燥、またはエアコンや換気扇を稼働して乾燥させます。※この時に、エアコンや換気扇のダクト内も抗菌されます！

5. スポットコーティング

ドアノブ・スイッチ等、接触頻度の高い場所においては、溶液乾燥後、二重で抗菌を行います。

6. 養生撤去・完了

乾燥後、全養生を撤去し、完了となります。

施工後には効果を測定

抗菌施工の**実施前・実施後**に「**ATP検査**」を行い、**抗菌効果を測定**します。

【測定器】

NITTA株式会社製 同等品

ルミノメーター（ATP拭き取り検査機）



■ ATP拭き取り検査

汚染物質（＝ATP値）を測定します。

30秒で結果を得られるので、その場で衛生状態を見ることが可能です。

清浄度検査としては、最も支持されている検査方法です。

※ATP拭き取り検査は、「食品衛生検査指針微生物編」（厚生労働省監修）に収載されています。

清浄度検査

食品加工設備機器、医療器具などが、十分に清浄に維持されているかどうかを調べる検査。食品製造に関わる事故や、医療現場での院内感染を防ぐためには、清浄度検査は非常に重要です。